

# 越谷の伝統的手工芸品をZ係がナビゲート

越谷市は、日光街道の宿場町の面影が残る町並みや伝統的手工芸品が歴史的な価値を受け継いでいます。越谷市の伝統的手工芸品に込められた、これまでの歴史と今、そして未来への想いを、作り手の皆さんと共にストーリーにしてZ係がご案内します。



私たちが越谷市役所プロモーションZ係です。Z係で覚えてください!



埼玉東明美容専門学校の生徒で構成された越谷市役所プロモーションZ係。Z世代ならではの視点で、Instagramを活用しながら越谷の魅力発信しています。



Instagramはこちらをチェック!

## Chapter 1

### 越谷には古くから伝統的手工芸品がこんなに!

日光街道の宿場町として栄えた越谷では、江戸時代以降さまざまな手工芸品が生まれ、全国へとその名を広めていきました。越谷だるま、越谷手焼きせんべい、越谷ひな人形、越谷甲冑、越谷桐箱など。これらの伝統は脈々と受け継がれ、越谷の特産として大切に残されています。



江戸時代中期、間久里のだる吉という人形師が、起きあがり小法師という玩具に中国禅僧の祖「達磨大師」が座禅を組んだ姿を描いたのが越谷だるまの始まりとされています。色が白く、鼻がやや高い上品で優しい雰囲気、越谷だるまの特徴です。



かつて江戸の米蔵と呼ばれた越谷で、お米を潰して焼いた「焼米」がおやつにされていました。これが、越谷手焼きせんべいの発祥と言われています。天日干しの生地や手焼きにこだわって作られ、しょうゆダレも店独自の工夫がこらされています。



安永年間に越ヶ谷新町の会田佐右衛門という人がひな人形の製法を学び、越谷で製作を始めたことが由来とされる越谷ひな人形。気品にあふれた優美な顔立ちで高く評価されています。



金工、漆工、皮革工芸、組紐など、さまざまな技法を駆使して作られる越谷甲冑。鮮やかな色彩と威厳のある風格が特徴です。時代考証を重ね細部にわたって再現しています。



江戸時代の文化年間に作られヒットした化粧水「江戸の水」に使われていたのが越谷桐箱です。軽いうえに吸湿性があるので、掛け軸や陶磁器の箱に使われています。



歴史が長いものばかり!

## Chapter 3

### 伝統的手工芸品ってじつはこんなに“新しい”!?

長い時間をかけて大切に受け継がれてきた越谷の伝統的手工芸品。伝統を大切にするとともに、未来に技術を継承していくために新しい取り組みが始まっています。



越谷甲冑は、海外でも大人気です。海外での販売を目指して、日常生活に使える、お酒の瓶にかぶせるボトルアーマーや、日本刀のデザインで作られた靴ペラなども制作されています。



浴衣などの生地に色や柄を付ける藍染め技法の「籠染め」を市内で行ってきた中野形染工場。その藍染めで使用していた籠(真鍮製の型)を活用した内照式オブジェが籠染灯籠です。和室はもとより洋室にもなじみ、日光街道の蔵や古民家にも飾られています。



越谷ひな人形は木目込(布を押し込んで胴体にはわせる)の技法でも作られています。今、木目込で手鏡、トレイ、招き猫などが制作されています。木目込神楽(面)は、東京手仕事プロジェクト(伝統工芸品の活性化を目的とした商品開発などを行う取り組み)で、特に優秀な商品に与えられる都知事賞を受賞しました。



漆塗りの伝統技法を生かした、木工塗装の最高峰といわれる「鏡面塗装」が施されています。純金箔のグラデーションが美しいタンブラーは、漆塗りの技術を現代化した特殊な技法で漆塗りと同様の美しさ。高級感のある名刺入れやスマートフォンケースなども制作されています。

## Chapter 2

### 越谷だるまの今にZ係が迫る!



遠藤商店・遠藤さん(写真左から4人目)(有)島田達磨総業・島田さん(写真左から5人目) 松崎達磨産業・松崎さん(写真右から3人目) 種原商店・種原さん(写真右から4人目)

絵付け体験で、職人さんのすごさを実感!!

絵付けはとても楽しかったです! 私たちZ係のZをゴールドで描いてみました。でも、だるまの表情を決める眉毛やひげが難しくして。眉毛を逆に描いたのは大失敗。もうショックで...

世界に一つだけの越谷だるま。いいじゃないですか。いい思い出になりますよ。だるまの眉毛やひげには、鶴や亀が描かれているんです。縁起物ですから。一職人さんは迷わず、さーっとすごい速さで描きますよね。私たちは、左右対称になかなかならず。私たち職人は、筆の穂先にまで気を遣っています。描くときは呼吸を止めて、一気に描きあげるんです。一え〜! そんな絶対無理(笑)。

小学校では越谷だるまの授業が!!

一じつは私、越谷だるまについて知らなかったんです。



Z係は、越谷だるまを知るため、(有)島田達磨総業で絵付けに挑戦。体験後はインタビュアーとなって、越谷市だるま組合の職人さんに越谷だるまの今を聞いてきました。



越谷市では小学3年生で越谷だるまの授業があるんです。私たちが子どもたちに直接教えることもあるんですよ。テストにも出るみたいで、みんな真剣に聞いてくれます(笑)。一今の越谷の小学生はいいですね。ちゃんと教えてもらっているんだ。

越谷だるまを次の世代につなげるために!!

一皆さんはどうしてだるま職人になったんですか。

だるま作りは昔は農家の副業だったんですよ。私も家で親が作っていたのを子どものころから手伝ってききました。

一今も同じように少人数で作っているんですか。

うちは4人で作っています。作り手となる職人不足は深刻です。次の世代に技術を継承させていかない。そのために、たくさんの人たちに越谷だるまの魅力を知らせてもらいたいんです。

一若い人たちに越谷だるまの魅力をもっと知ってもらえるように私たちも頑張ります。今日教えてもらったことをSNSで発信したり。私たちの学校の学園祭で紹介してもおもしろいかも。今日はありがとうございました。

#### Z係の感想

職人さんたちのことを純粋にすごい、と思いました。越谷だるまを後世に伝える方法を探しているという話も印象的です。私たちは、若者として今使える技術で「越谷にこんなにすごい伝統、すごいだるまがあるんだ」と発信したいと思います。そして越谷だるまのことを多くの人に知ってもらいたいです。

## Chapter 4

### デザインのチカラで進化を続ける越谷だるま

職人さんの丁寧な手仕事を通して大切に受け継がれてきた越谷だるまは、日々の生活の中で使われながら美しいたたずまいを見せています。一方で、時代とともにライフスタイルが変化の中でマーケットの縮小や後継者問題などの課題も。こうした課題に、日常や非日常の視点で伝統の進化にチャレンジする取り組みを紹介します。

#### 伝統の新化で暮らしに溶け込む越谷こだるま



パステルカラーの越谷だるまを、ビーズなどでデコレーションして作られる越谷こだるまは、子どもたちを中心に大人気です。市内イベントやマルシェ等で開催されるワークショップは毎回申し込み開始と同時に定員に達するほどの盛況ぶり。



戦略的クリエイティブ集団TRADITIONNOW(同)の石川さんご夫婦と田中さん

キャッチコピー、デザイン、マーケティングの総合力で、地域や越谷の伝統を盛り上げます

Instagramはこちら▶

#### 伝統の深化で美術的価値を生む越谷だるまアート



越谷だるまの製法やフォルムを生かしながら、ワールドでメッセージ性のあるデザインに「深化」させた越谷だるまアート。2011年から制作が始まり、アーティストとコラボレーションを行うなど市内外で高く評価されています。



市内のデザイン事務所・ハナブサ デザインの花房茂さん

中学生との作品制作など、まちのアートイベントに力を入れています。伝統の物語を掘り起こし、アートで市を活性化したいです。

私たちが越谷こだるま作りに挑戦しました。Instagramでご覧ください!



伝統的手工芸品の物語はこれからも続く...

To be continued...

#### 問い合わせはこちら

越谷市役所プロモーションZ係 広報シティプロモーション課 ☎967-1325 越谷だるま 越谷市だるま組合(南島田達磨総業) ☎976-7788 越谷甲冑・越谷ひな人形 越谷ひな人形組合(南栗原木工所) ☎048-791-4450

越谷桐箱 越谷桐箱組合(遠藤桐箱) ☎974-3504 越谷手焼きせんべい 越谷米菓組合(清水屋せんべい店) ☎962-7850 籠染灯籠 ハナブサ デザイン hanabusa@crest.ocn.ne.jp